

開催概要

- 名称 平成30年 新潟県国民保護共同図上訓練
- 会期 2019年1月24日(木)
13:00~16:30
- 会場 新潟県庁
西回廊 2階 危機管理センター
- 主催 新潟県
- プレイヤー派遣
新潟GIS協議会 2名(吉田、龍田)
くびき野地理空間情報センター 1名(大平)
- 参加者 新潟県庁職員複数、自衛隊ほか
参観者：上中下越団体より数名(長岡：笠井、町永)
- 内容 新潟県が行う図上訓練の参観
図上訓練とは、時間ごとに与えられたシナリオに沿って各プレイヤー(県職員)が各所に連絡して内容を確認する訓練である。今回の訓練想定はJR新潟駅、JR上越妙高駅の2箇所で爆破テロが起き、多数の死傷者が発生、続いて朱鷺メッセでの爆破予告が発表されたことを想定したものであった。

■ 受講状況



訓練風景 1



訓練風景 2

■ 参観者コメント

今回の訓練は同時に2箇所で爆破テロが起こり、連続して他の箇所で爆破予告が発表されたという想定であることから、各事案の位置情報がとても重要であり、それらを集約するにあたり、位置情報と各データの関連付けが可能なGISの活用が、実際の国民保護事案、自然災害時において、有効なツールであることを改めて実感した図上訓練でした。